


1. 総論

【総括判断】「新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、足下では下げ止まりの動きがみられる」









項目	前回（2年4月判断）	今回（2年7月判断）	前回比較
総括判断	新型コロナウイルス感染症の影響により、経済活動が抑制され、足下で下押しされた状況にある	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、足下では下げ止まりの動きがみられる	

（注）2年7月判断は、前回4月判断以降、足下（7月末）の状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

個人消費は、スーパーが堅調であるほか、百貨店や観光等は、足下では持ち直しの動きなどがみられることから、全体としては新型コロナウイルス感染症の影響により、弱含んでいるものの、足下では緩やかに持ち直しつつある。生産活動は、新型コロナウイルス感染症の影響により、輸送機械で足踏みの状況にあるほか、電気機械や汎用・生産用機械が弱含んでいることから、全体としては、弱含んでいる。雇用情勢は、新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている。

【各項目の判断】

項目	前回（2年4月判断）	今回（2年7月判断）	前回比較
個人消費	新型コロナウイルス感染症の影響により、弱含んでいる	新型コロナウイルス感染症の影響により、弱含んでいるものの、足下では緩やかに持ち直しつつある	
生産活動	足踏みの状況にある	新型コロナウイルス感染症の影響により、弱含んでいる	
雇用情勢	改善していたが、新型コロナウイルス感染症の影響がみられる	新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている	
設備投資	元年度は前年度を下回る見込み	2年度は前年度を下回る見込み	
企業収益	元年度は減益見込み	2年度は減益見込み	
企業の景況感	現状判断は「下降」超	現状判断は「下降」超	
住宅建設	前年を下回っている	前年を下回っている	
公共事業	前年度を上回っている	前年度を下回っている	

【先行き】

先行きについては、感染拡大の防止策を講じつつ、社会経済活動のレベルを段階的に引き上げていくなかで、各種政策の効果もあって、厳しい状況から持ち直しに向かうことが期待される。ただし、感染症が地域経済に与える影響に十分注意する必要がある。

2. 各論

■ 個人消費 「新型コロナウイルス感染症の影響により、弱含んでいるものの、足下では緩やかに持ち直しつつある」

スーパーは、衣料品や身の回り品が弱い動きとなっているものの、飲食料品が順調であることから、全体としては堅調となっている。コンビニエンスストアは、来店客数が減少していることから、全体としては弱含んでいるが、足下では米飯類等が持ち直しており、下げ止まりの動きがみられる。ドラッグストア販売は、新規出店効果に加え、マスク等の衛生用品や飲食料品に動きがみられることから、前年を上回っている。家電販売は、来店客数が減少しているものの、パソコンやテレビに動きがみられることから、全体としては前年並みとなっている。ホームセンター販売は、園芸用品やマスク等の衛生用品に動きがみられることから、前年を上回っている。百貨店は、衣料品や飲食料品が低調であるなかで、一時休業もあって急速に悪化したものの、足下では来店客数が回復傾向にあることから、持ち直しの動きがみられる。乗用車販売は、普通車、小型車、軽乗用車のいずれにおいても前年を下回っている。観光は、新型コロナウイルス感染症の影響により、低調となっているものの、足下では持ち直しの動きがみられる。旅行は、新型コロナウイルス感染症の影響により、不調となっているものの、足下では国内旅行に下げ止まりの動きがみられる。

(主なヒアリング結果)

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、食料品の動きが良い。また、足下では衣料品や身の回り品にも動きがみられ始めた。(スーパー)
- 新型コロナウイルス感染症の影響により、来店客数は前年を下回っているが、足下では、通勤・通学客が戻ってきている。(コンビニエンスストア)
- 新型コロナウイルス感染症の影響により休業していたが、営業を再開後、足下に向け徐々に客足が戻ってきている。(百貨店)
- 入込客数はまだ少ないが、徐々に県内、近県の客足が戻ってきている。(観光施設)

■ 生産活動 「新型コロナウイルス感染症の影響により、弱含んでいる」

輸送機械は、高操業が続いているものの、新規受注は厳しい状況にあり、足踏みの状況にある。電気機械は、自動車向けの需要が減少していることから、弱含んでいる。汎用・生産用機械は、受注が減少していることから、弱含んでいる。こうしたことから、全体では新型コロナウイルス感染症の影響により、弱含んでいる。

- 新規受注は、価格競争に加え、新型コロナウイルス感染症の影響などにより、世界経済の回復の見通しが立たないことから、厳しい状況となっている。(輸送機械)
- 新型コロナウイルス感染症の影響により、自動車向けの需要がさらに減少している。(電気機械)
- 新型コロナウイルス感染症の影響により、営業活動が制約されたことや、設備投資計画を見直すケースもみられることから、生産量は減少している。(汎用・生産用機械)





■ 雇用情勢 「新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている」

有効求人倍率は、低下している。新規求人数は、卸売業・小売業、サービス業等が減少していることから、前年を下回っている。

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、卸業者で飲食店との取引が減少し、求人が取り消された。そのほか、小売業で、営業自粛や営業時間の短縮により、求人を抑えるケースが複数あった。(労働局)

- **設備投資** 「2年度は前年度を下回る見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」2年4-6 月期調査
 - 全産業で5.4%の減少見込みとなっている。
 - これを業種別にみると、製造業で1.7%の減少見込み、非製造業で14.1%の減少見込みとなっている。
- **企業収益** 「2年度は減益見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」2年4-6 月期調査
 - 全産業で14.2%の減益見込みとなっている。
 - これを業種別にみると、製造業で16.0%の減益見込み、非製造業で5.4%の減益見込みとなっている。
- **住宅建設** 「前年を下回っている」
 - 新設住宅着工戸数でみると、持家、貸家及び分譲で前年を下回っており、全体としても前年を下回っている。
- **公共事業** 「前年度を下回っている」
 - 前払金保証請負金額(令和2年度6月累計額)でみると、管内合計は前年度を下回っている。
 - 発注者別にみると、国及び独立行政法人等において前年度を上回っているものの、県及び市町村において前年度を下回っている。

3. 各県の総括判断

	前 回 (2年4月判断)	今 回 (2年7月判断)	前回比較	総括判断の要点
香川県	新型コロナウイルス感染症の影響により、経済活動が抑制され、足下で下押しされた状況にある	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、足下では下げ止まりの動きがみられる		個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響により、弱含んでいるものの、足下では緩やかに持ち直しつつある。生産活動は、新型コロナウイルス感染症の影響により、弱含んでいる。雇用情勢は、新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている。
徳島県	新型コロナウイルス感染症の影響により、経済活動が抑制され、足下で下押しされた状況にある	一部に下げ止まりの兆しがみられるものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、下押しされた状況が続いている		個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっているものの、足下では下げ止まりの兆しがみられる。一方、生産活動は弱含んでおり、雇用情勢は、弱い動きとなっている。
愛媛県	新型コロナウイルス感染症の影響により、経済活動が抑制され、足下で下押しされた状況にある	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、足下では下げ止まりの動きがみられる		個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響により、弱含んでいるものの、足下では緩やかに持ち直しつつある。生産活動は、新型コロナウイルス感染症の影響により、弱含んでいる。雇用情勢は、新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている。
高知県	新型コロナウイルス感染症の影響により、経済活動が抑制され、足下で下押しされた状況にある	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、足下では下げ止まりの動きがみられる		個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響により、弱含んでいるものの、足下では緩やかに持ち直しつつある。生産活動は、新型コロナウイルス感染症の影響により、弱含んでいる。雇用情勢は、新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている。